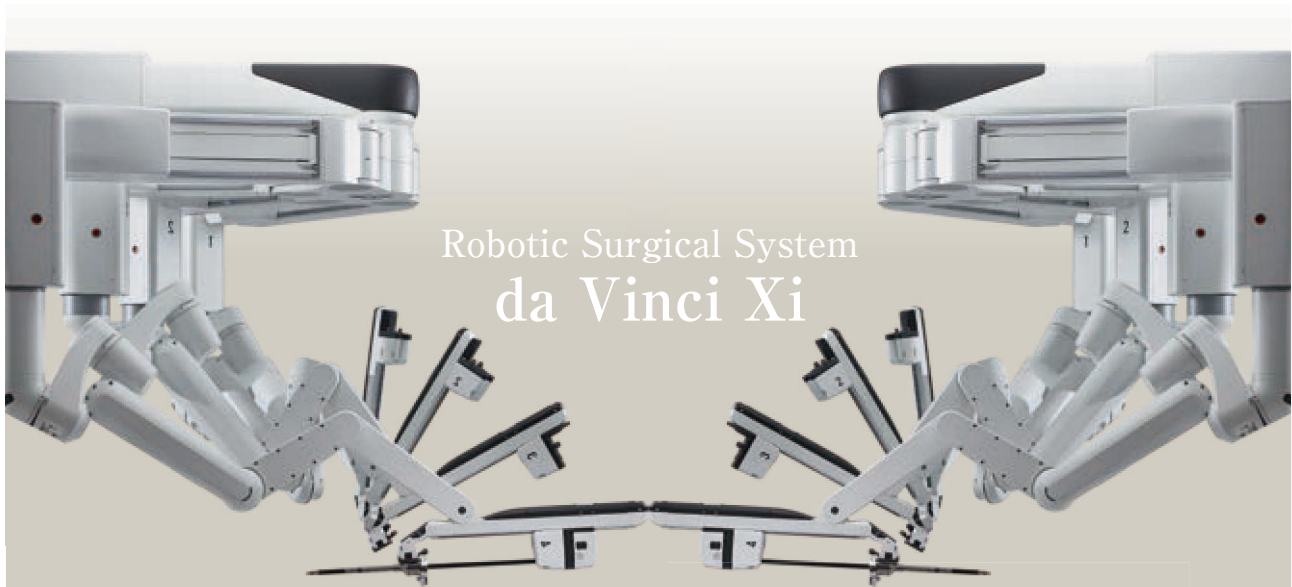


特集 手術支援ロボット ダヴィンチ2台体制へ

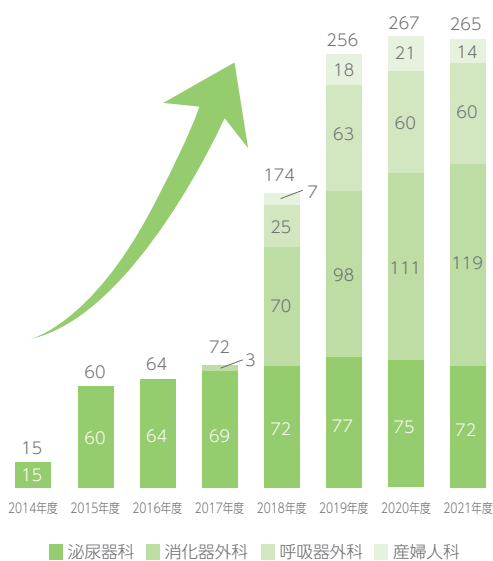


～最新機種「da Vinci Xi」2台体制により  
低侵襲手術の更なる拡大をめざす～

ロボット支援手術資格者（2022年9月現在）

日本ロボット外科学会 Robo-Doc Pilot	国内 A 級	1 名
〃	国内 B 級	1 名
ロボット支援手術プロクター（指導医）		10 名
インテュイティブ社認定ダヴィンチ執刀医		16 名
〃	第一助手	3 名

ロボット手術件数の推移（2014-2021年度）



術式別ロボット手術件数（2021年度）

診療科	術式名（診療報酬名）	2021年度
泌尿器科	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	16
	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	41
	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（全摘・腸管）	2
	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（全摘・回腸等結腸導管利用）	1
	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（全摘・代用膀胱利用）	0
	腹腔鏡下腎盂形成手術	12
消化器外科	腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術）	12
	腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍切除術）	11
	腹腔鏡下胃全摘術	4
	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術）	4
	腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）	44
	腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）	8
	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術	2
	腹腔鏡下脾頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清）	25
	腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術（脾同時切除）	4
腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術（脾温存）	5	
呼吸器外科	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術	1
	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	8
	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	8
	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）	2
産婦人科	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）	41
	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る）	8
	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	6
総計		265



ダヴィンチによる外科手術が本邦で消化器領域、呼吸器領域、婦人科領域など各がん腫に広く保険適用になった2018年からはや3年半が過ぎました。インテュイティブサージカル社\*1によると当院は県下で一二を争うロボット手術症例数を誇り、この最新の低侵襲手術を求めて遠くは県外から来院される患者さんもみられるようになってきました。しかしながら現在までダヴィンチXi 1台での単独運用でしたので症例数には自ずと限りがあり、ご希望に応えられず通常の腹腔鏡や胸腔鏡による手術を行わざるを得ない患者さんもおられました。しかし2022年10月からは2台目の運用を開始し、希望されるより多くの患者さんにこの最新の低侵襲手術を届けることが可能となりました。

呼吸器外科では2018年9月にダヴィンチ手術を開始し、わずか7ヶ月後には筆者が全国で20人目となる学会認定のプロクター（ロボット手術指導医）を取得。その後も国内で現在6人\*2しかいない日本ロボット外科学会の国内A級ライセンスを取得。部下2名も立て続けにプロクターに認定され、2022年3月には全国で13施設目となるロボット執刀医ライセンス発行権のあるメンター（症例見学教育施設）に指定されました。高い技術をもって全国区の指導施設として県内外の大学病院、医療センターなどへの手術指導を行っています。現在250例\*3の実績がありますが、部下の執刀症例も含め平均コンソール時間（ロボットの操作時間）は96分で、創の大きさだけでなく「時間も侵襲である」というポリシーのもと、4.7日間という術後平均在院日数を達成しています。

呼吸器外科以外にも肝胆膵外科、上部下部消化管外科、産婦人科、泌尿器科とも年々拡大される保険適用に積極的に対応し、徐々に高難易度の術式にその適応を拡大しながら、手術の質を上げつつ後進の育成にも取り組んでいます。

ロボット手術は狭い骨盤腔内や胸腔内における手術に革命をもたらしており、今後さらに操作性の向上が期待されます。また学会も執刀の資格を若い外科医に拡大していく方向を示しており、さらに全国に普及していくでしょう。

関西労災病院ではすでに各分野にロボット手術のエキスパートがそろっています。今回の2台目導入によりさらに症例数を増やし、技術の向上をはかり一味違う次元の高い次世代の低侵襲手術をめざします。ご期待ください。



呼吸器外科部長  
岩田 隆

\*1 社内データによる \*2 2022年9月現在 \*3 2022年8月現在